

クラスライブラリアン（学年担当司書）制度

学生とのパートナーシップ構築による主体的学びへの支援策

目的・趣旨 |

小樽商科大学では、開学以来の理念である「実学」を実践するため、最先端の「アクティブ・ラーニング」を導入し、教育環境強化の全学的展開に取り組んでいます。この中で図書館においても、学生による主体的な学びの確立に向け、新たな学びの形に対応した学習空間の提供と合わせ、学習支援体制の強化に取り組んでいます。図書館運営の当面のマスタープランとなる「附属図書館の運営に関する基本方針」では、「学生、教員と図書館職員とのパートナーシップの強化」を重点項目として掲げており、「クラスライブラリアン制度」は学生と図書館職員とのパートナーシップ構築の要となるもので、学習支援を一層充実したものにするための重点方策です。

本学図書館では、これまでの本学機関リポジトリ「Barrel」構築推進を機に進めた教員とのパートナーシップ構築の実績を生かし、クラスライブラリアン制度によって、学生へ向けたパートナーシップ構築を実現することで、図書館が大学における教育・学習支援の重要で不可欠な役割を果たすことを目的としています。

実施内容 |

平成 24 年度より、学部各学年（1 学年 500 名強）及び大学院（計約 100 名）の学生に対し、図書館職員各 1 名の計 5 名がクラスライブラリアンを担当しています。クラスライブラリアンは特定の係が担当するのではなく、全館職員の中から選んでいます。

附属図書館 Facebook を活用し、クラスライブラリアン各学年担当者の紹介、各担当者の連絡先を公開し、広く学生からの質問・相談を呼

び掛けています。

また、新入生対象図書館ガイダンス（1 年生）、基礎ゼミでの図書館講習会（1 年生）や、卒業論文執筆に向けた「卒論閲覧会」（4 年生）など、各学年での学事、イベントに対応した支援を実施しており、平成 24 年度には、新入生向けキャリア教育の合宿であるルーキーズキャンプに 1 年生担当クラスライブラリアンが参加するなど、様々な支援を行っています。

実施成果 |

図書館ガイダンス、講習会などを通じて学生とクラスライブラリアンが顔の見える関係を築き、それをもとに図書の購入希望、文献入手の相談、その他学習相談などを通じて学生の要望がクラスライブラリアンに集約されます。クラスライブラリアンは、その後の講習会などで、内容を学生の要望を反映したものにアップデートしたり、担当教員と協力して図書館に文献を準備したりなど、担当学年生へのフィードバックがしやすくなっています。また、学修の進行に合わせ、段階を追って継続的に支援を実施することができるため、担当学年生の情報リテラシーのレベルに合わせた支援が可能となります。

担当する図書館職員から見た場合、通常担当業務に限定されない包括的な支援に対応する必要があるため、日頃から図書館サービス全体を念頭に置いた業務への取り組みを意識することとなり、また、職員間での情報共有が活発になっています。

本制度開始からの年数も浅く、実績が少ないため、ノウハウの蓄積を進めているところです。職員側、学生側とも手探りの状態ですが、この

プロセスにあることが、現在においては相互理解によるパートナーシップ構築に役立っています。

今後の展開・課題 |

平成 25 年 9 月現在、本学では「学生の主体的な学びの確立」実現を目的としてアクティブ・ラーニングを導入するため、最先端の ICT 設備を備えた講義室の整備とともに、図書館では、多様なコンセプトスペースの設置、学習支援体制の充実のための全面的な改修を行っています。このたびの改修では、これまで 2 フロアに分散していた図書館職員の配置を、学生の滞在する学習エリアの中心に一元化し、ここに学生の相談窓口となる学習支援カウンターを設置することにしました。これにより、全図書館職員が常に学生に近い場所に存在することになるため、クラスライブラリアン制度を含めた学習支援体制の一層の強化が図られることとなります。

今後は、教員と連携し、授業の中で図書館の一層の活用を図るとともに、就職、進学、留学、国際交流など学内他部署と連携し、対応したイベントの実施など、様々な支援策を実施することで、学生とのパートナーシップを更に充実させる予定です。

参考文献・URL |

- ・(小樽商科大学)「附属図書館の運営に関する基本方針」
<http://www.otaru-uc.ac.jp/htosyo1/gaiyo/uneihoushin.pdf>
- ・小樽商科大学附属図書館 Facebook
<https://www.facebook.com/OtaruUniversityofCommerceLibrary>

連絡先 |

小樽商科大学学術情報課（附属図書館）
 〒047-8502 小樽市緑 3 丁目 5 番 21 号
 TEL: 0134-27-5273

Class Librarian

5人の図書館員がそれぞれの学年を受け持ち、卒業までの期間、ずっとその学年の担当として、皆さんからの質問・相談に応じるというプログラムです。



2016年度卒業生担当

鹿内 一郎

SHIKANAI, Ichiro

ご入学おめでとうございます。大学では自らが主体的に学修し、資料の収集・作成、卒論作成のため自学自習することが求められます。卒業まで、微力ながらサポートしてまいります。活発なご利用をお待ちしております。

連絡先

TEL
0134-3121-5272



2015年度卒業生担当

長谷川 奈々

HASEGAWA, Nana

2年生も後半になるとゼミ選択の時期になりますね。自分のやりたい勉強ができる充実した3年生を送れるように、2年生のみなさんの学習生活の助けになるようがんばりますので、よろしく願います。

連絡先

TEL
0134-3121-5271



2014年度卒業生担当

中筋 知恵

NAKASUJI, Tomoe

大学生活も後半に入り、就職活動や卒論の準備で忙しくなってきましたね。学習も専門的になり、充実した日々を送れる3年生。あらゆる学習活動をサポートしますので、いつでもご相談ください。お待ちしております。

連絡先

TEL
0134-3121-5273



2013年度卒業生担当

三浦 千穂

MIURA, Chiho

4年生のみなさんを担当します。「卒論の書き方」や、今後の社会生活にも役立つ「企画の立て方」、「プレゼン技法」など知りたいことはありませんか？頑張るみなさんをサポートします。ぜひ気軽にご相談ください。

連絡先

TEL
0134-3121-5274



大学院生担当

南 絵里子

MINAMI, Eriko

アントレプレナーシップ専攻、現代商学専攻で学ぶ大学院生のみなさんを担当します。研究や論文執筆に必要な文献の探し方やデータベースの使用法など、わからないことがありましたらお気軽にお問い合わせください。

連絡先

TEL
0134-3121-5273

